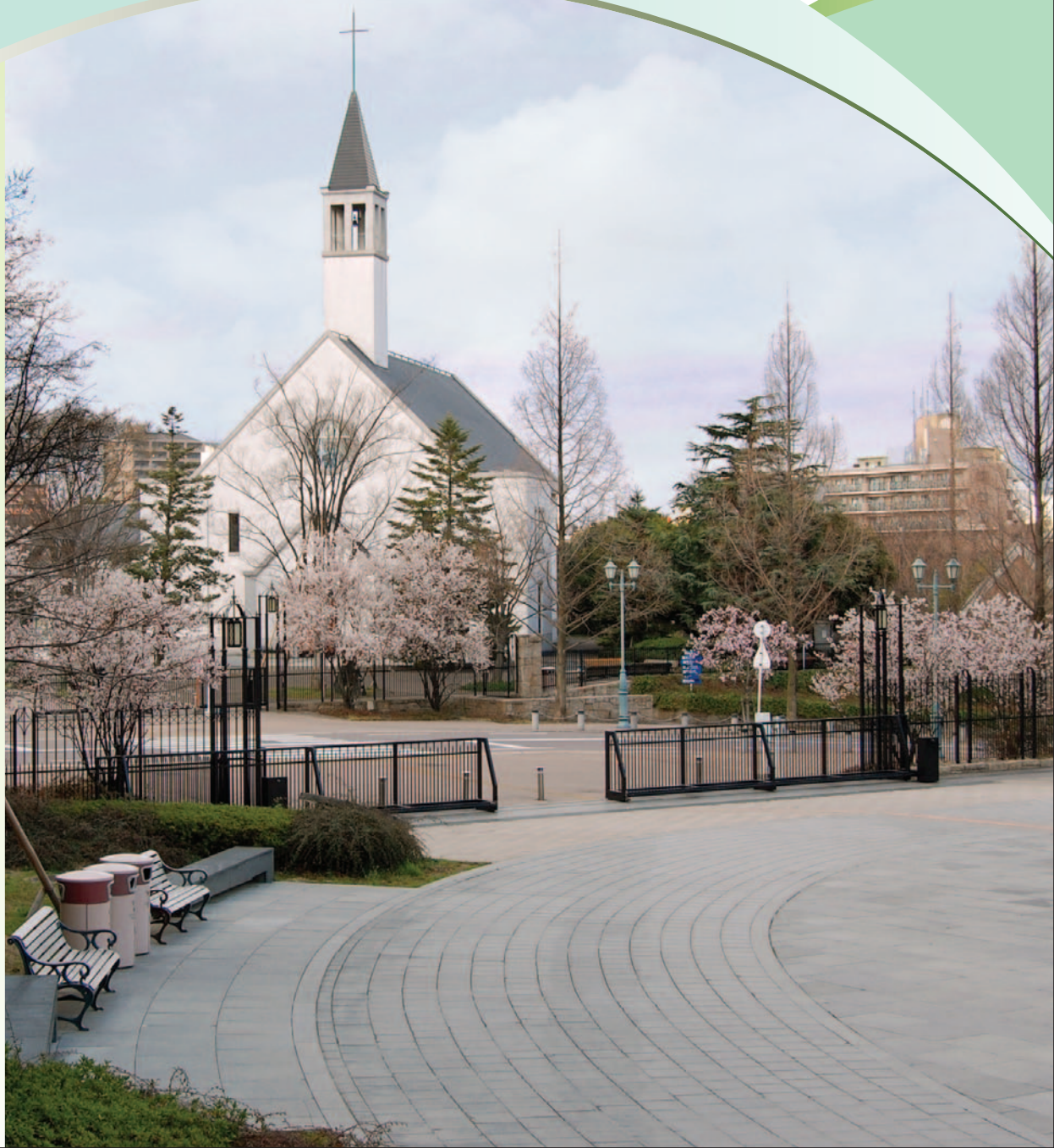




vol. **5**
2015
SPRING

かけはし

桃山学院大学教育後援会だより



特集

◆「教育・就職サポート講演会」報告

5

◆梅田サテライト開設

2

9

桃山学院大学教育後援会 親として知っておきたい「子育て四訓」



教育後援会
会長 久岡 美弘

今年も教育後援会に新たな仲間をお迎えすることができました。新入生保護者の皆様には心より入学のお祝いを申し上げます。

さて、山口県に住む教育者のA氏が長年の教育経験を踏まえてまとめたものに「子育て四訓」があります。

- 一、乳児はしっかり肌を離すな
- 一、幼児は肌を離せ 手を離すな
- 一、少年は手を離せ 目を離すな
- 一、青年は目を離せ 心を離すな

青年期にまでなると、完全に自立していくために自分なりの生き甲斐、進路を歩んでいく時ですが心を離してはいけないということです。何れにしても子育ての最終責任は親にあるという基本を忘れてはならないと思います。

大企業を中心に、企業成績は多少好転に向かっているとは

言え、学生達の就職活動は厳しい状況が続くと思われまふ。そんな中、親として何ができるかぜひ考えていただきたい。沢山の企業から志望する企業をどの様に調べたらよいか。企業情報を得るにはどうしたらよいか。また、内定が貰えずに落ち込んでいる時、子どもの方から話したいという気持ちになった時、社会人の先輩としていつでも聞いてやれる姿勢が大切ではないでしょうか？その為には大学の状況等を知っておくことが必要です。教育後援会では皆様に情報を提供すべく、教職員の方々に地方支部に出向き大学や就職の状況等をお話いただく機会を設けております。また、本年も6月から大学主催で「教育・就職懇談会」が全国14支部で実施されます。学生生活、就職状況等大学職員が保護者と個別面談し、各種の相談に応じております。大学の現状を知る良い機会でもありますので、特に新入生の保護者の皆様はぜひご参加ください。今後とも教育後援会にご支援ご協力をお願い申し上げます。

桃山学院大学 学長 若人よ、広い世界を体験しよう！



桃山学院大学
学長 前田 徹生

新たな年を迎え、皆さま方のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

昨年末に、天草、雲仙島原の旅をしてきた。ここは日本の歴史上最大の一揆とされる島原の乱（現在は「天草・島原の一揆」とも言われる）の舞台となったところ。過重な年貢負担や酷使に窮し、これに藩によるキリシタン（カトリック信徒）の迫害、飢饉の被害まで加わり、追い詰められた領民が領主に対して起

こした反乱である。一揆軍の最後の砦となった原城では、幕府側の連合軍により天草四郎時貞をはじめ3万数千人が殺され、埋められたとされる凄惨な歴史の地でもある。しかし、素晴らしいところでもあった。

天草に渡り、宿泊したホテルで我々夫婦の給仕をしてくれたY君という青年に会った。彼は天草で生まれ育った生粋の『天草っ子』で、天草以外の世界を経験したのは、東京の大学へ

進学した4年間だけ。そんな彼が初めて東京に出て生活し始めて受けたカルチャー・ショックは、水が臭くてお風呂に入れなかったことだ。天草の清らかな水をあたりまえのように感じて育った彼には、初めて経験する都会の水は耐え難く、結局、ずっとシャワーで済ませたそうである。Y君が東京での生活を重ね、天草に帰ったある時、故郷の海を見ていると、「自分のふるさとはなんと美しいのだ！」と初めて気がつき、知らず知らずのうちに涙があふれでてきたという。それを機に「天草に帰ろう」と決心したとのこと。生まれ育った故郷を空気のように感じて育った彼が東京での生活体験を通じて初めて故郷の素晴らしさに気がついた。そんなY君の天草愛にあふれた天草レクチャーは、聞いている我々の心にもしっとりと沁みってくるものがあつた。よその世界を知ることは自分の世界を知ること、他国を知ることは自国を知ること。本学が標榜する「世界が変わる体験がある」という言葉は、しみじみと意味の深い言葉であると感じた次第である。「若人よ、広い世界を体験しよう！」

聖書の言葉

思いやり

「いかに幸いなことでしょうか。弱いものに思いやりのある人は。災いのふりかかるとき、神はその人を逃れさせてくださいます。」
(詩編41章2節)

マザー・テレサは社会的、身体的、経済的に弱い立場にある、いわゆる社会的弱者を「弱くされた人々」と呼びました。「弱い人々」ではありません。全ての社会的弱者と呼ばれる人々は、周りの人間や環境などによって弱くなったのではなく、弱くされたのだとテレサは理解したのです。そう考えていくと、弱くされた人々とは、私たちが弱くしてしまっている人々であるということになります。誰もが自分は何も悪いことをした覚えがないと思うでしょうが、例えばバナナを安く購入できるのは、超低賃金で働いている現地の人々のおかげなのです。社会の構造が弱者を生み出しているのです。しかし、社会など変えることは不可能だと諦めてしまうのは早合点です。聖書は「いかに幸いなことでしょうか。弱いものに思いやりのある人は」と言って弱くされた人を思いやる心を勧めています。

さらに「災いのふりかかるとき、神はその人を逃れさせてくださいます」と言って「人を思いやる人を神さま

が守る」と約束までしています。それ程、人を思いやる心が素晴らしいと教えているわけです。日本の場合、「情けは人の為ならず」という言葉があります。周知なことですが、情けをかけるのは人の為にならないという意味ではなく、情けをかける者には回りまわって、かけた情けが返ってくるという意味です。聖書の教えと非常によく似ています。本学の学生達が勉学に勤しむだけでなく、桃大での学生生活の中で人を思いやる心も成長してもらえればと願っています。本学のボランティア活動などにも参加して、一人ひとりが無理矢理ではなく、弱くされた人々に対する思いやりをもって、自発的な意志によって、助け合う大人となれますように。



チャプレン 松平 功

梅田サテライト開設

本部 坂本 啓子
 桃山学院大学梅田サテライトが大阪都心部の梅田スクエアビル8階に設置され、2014年11月3日(月)オープンしました。

目的は、本学学生・卒業生の就職活動を支援することです。そのために、キャリアセンタースタッフの方が、月～金曜日に交替で詰めて学生の就職活動についての相談にあたっておられます。相談は個別面談で事前申し込みが必要です。相談の内容は、特に履歴書作成に関すること、志望する業界の傾向、会社選びの基準などが多いようです。サテライトでは、他にも情報検索等のため



のパソコン利用のスペースや、就職関連図書、新聞の閲覧コーナー、コピー機や更衣室も用意されています。さらに正面の壁面すべてがホワイトボードであるセミナー室は、38名の収容が可能で、キャリア教育のための種々の講座や企業説明会等に利用されています。

取材当日、セミナー室利用の3、4年生にサテライトについて感想を尋ねると「新しくてきれい」「フットワークが良く便利」「静かな環境でやりたいことに集中できる」「大きなホワイトボードはどんどん書き足せて、思考、話し合いの経過をそのまま残せるので良い」など、好評でした。キャリアセンター職員の方からも、「様々な就職支援の講座など、支援に関わる全般をやっていききたい」と抱負を語っていただきました。桃大生のための就職活動の新たな拠点として、その活用が大いに期待されるようです。



2014年11月14(金)～16日(日)

「桃山祭」

学内ツアー参加

渡部陽一氏講演

「世界からのメッセージ ～希望ある明日のために～」を聞いて

大阪南支部 池側 浩正

いつものニット帽にカメラマンベスト姿で聴衆の期待を裏切らない出で立ちの渡部陽一氏が登場すると、満員の会場から割れんばかりの拍手が起こりました。

以前は、よくテレビのバラエティー番組に出演されていましたが、最近、出演されていないと思えば、2か月ほど前までイスラム国の取材のために中東を訪問しておられたとのこと。有名になった後も平和な日本に安住せずに海外の紛争地域を飛び回っておられることを知り、さらに関心が深まりました。氏が20歳の時に訪れたアフリカでルワンダ内戦に遭遇し、紛争地域の子どもの窮状を知り、それ以来、子ども達が少しでも救われるようにとの一貫した信念のもと、戦場カメラマンとして活躍されていることは、尊敬できることであり、また、うらやましくもありました。講演の中で氏が示された子ども達の写真は、思わず目をそむけたくなるものもありました。私はなんとか見ることができましたが、非常に心が痛むものでした。戦争の悲惨さを、このような写真を通して見ることにより、私達もこれらのことに無関心ではられないと強く感じました。

独特の語り口と大きな身振り手振りで、演壇から聴衆の前まで降りてきて熱く語られる姿を目にし、会場に詰めかけた子どもから大人までが熱心に講演に聞き入っていました。

大阪南支部 中谷 美幸
 楽しみにしていた学内ツアーに参加しました。

聖トマス館では図書館とパソコン室の設備のすばらしさに驚きました。パソコンが苦手な学生にはセイントスタッフと呼ばれる方々が、サポートしてくださっていると聞き安心しました。学生証とパスワードだけで使用でき、終了時には電源をOFFにすることが所々に案内されているのを見ると、自由な使用とルールの遵守が身に付きそうに感じました。11Fラウンジからの景色はまなび野に立つ唯一の高層建築ならではの見晴らしで、駅周辺や道路、整然と並ぶ住宅地、管理された竹林や田畑やため池、造成が続くテクノステージのカンパニー群と車の並ぶ大型商業施設。人口増加中の和泉市とこの地域がまるで桃山学院大学を中心に発達していると思ってしまうくらい、人の営みの息吹が感じられました。

体育館での武道場では小学生も参加した合気道の表彰と演武があり、地域と密着した活動を拝見しました。またスイスの民族衣装を着た方々とすれ違いバグパイプの音色が聞こえるなど刺激の多い学内ツアーで、学生生活の一部を知ることができました。ありがとうございました。



無料休憩所

(大阪北/大阪南支部)



大阪南支部 坂本 照美
 毎年、最終日にチャペル前でテントを張り、大阪北/南支部の共同開催で、温かいお茶とお菓子をお出ししております。今年も約650名の方々にご利用いただきました。

通りが溢れかえるほどの大盛況の模擬店を通過すると、無料休憩所のテントが目に入ります。お越しいただいた方が、気軽にご利用いただける心温まる休憩所となっております。地域の方々や保護者の方々と、ちょっとした挨拶から和やかな会話が生まれ、憩いの場となっております。ご利用の形は様々で、待合せ場所であったり、ほっこりお茶を飲まれゆっくり休憩される方がおられたりなど、ときには道案内も行っております。

来年もたくさんの方々の方が桃山祭を訪れ、無料休憩所にお越しいただけるよう願っております。

Overseas Student

笑顔満開に～第14回 留学生振袖の会



京都・滋賀支部
羽山 春美



桃山学院大学聖ヨハネホールにて開催されました。

「留学生振袖の会」は、留学生に着物を着る体験を通して、日本の伝統文化を感じてもらい国際交流をしようという目的ではじめられたものです。当日は、天候にも恵まれ、学長、チャプレンにもご参加いただきました。地域のボランティアの方々や近畿各支部の保護者の皆様方のお手伝いにより、男子留学生4名がアンサンブル、女子留学生17名が、ヘアー・メイク・振袖の着付けをすませ、会場に集合しました。留学生達の華やかな着物姿。嬉しそうな笑顔に満ちていて、私達も自然と笑顔満開になりました。今年も茶道部11名のご協力によりお茶とお菓子が振舞われ、午後からの交流会では、抹茶の点て方体験、昔遊び紙風船の紹介や手品のパフォーマンスなども披露されました。また、本部役員OGより「自分の夢に向かって一生懸命努力してください」と一人ひとりに書の色紙がプレゼントされました。日本の伝統文化にふれ、充実した時間を過ごすことができました。



これからも皆様のご協力により、引き続き開催されますことを心より願っております。



*** 留学生からの感想 *** …感想文は一部を抜粋し、原文のまま紹介しています…



普段なかなか会えない世代の方々と会話ができ本当に良かったです。意外なのは、その中で故郷の蘇州へ旅行に行かれた方も何人かいらっしゃいました。蘇州の庭園やお寺がきれいですねとおっしゃってくれまして嬉しいです。個人として、良い交流ができました。(中国 樊昕怡)

振袖の会のボランティア達はとても優しく、親切です。髪セットをする時、全然痛くないでした。でも、担当の方はとても心配して、よく「痛いですね、ごめんね」と言いました。その優しい心を感じました。今回、振袖の着付けを通して、日本の文化なども勉強しました。いろいろお世話になりました。(中国 徐偉)

着物の着付けが本当に複雑だった。服は重ねに重ね、ひもは次から次へ巻き付けたのだ。着物を着るにはかなり体力が必要だ。私たちに着せる先生たち本当に「お疲れ様でした」。私はワクワクしながら出来上がった自分の姿を見て、ドラマに出てくる日本人の女性の姿とそっくりだと自ら思っ非常に満足した。来てくれた方々に、感謝の言葉しか言えない。(中国 Hu Xioying)

面白いことに、男性が着物を着る場合はちょっとお腹太りの方が格好いいことを始めて知りました。完成した後、周りの人によく似合っていると褒められて嬉しかったです。和装で歩いたり座ったりするのが大変だったけど、振袖を着る女性たちの姿を見ると、日本文化の優雅さを深く感じました。また、男性の留袖にポケットがあることは面白くて便利だと思いました。(台湾 張延丞)





●卒業証書・学位記授与式●

2015年3月17日(火) 和歌山支部 山畑 敏代



桜の蕾も膨らむ暖かい春の日、桃山学院大学総合体育館メインアリーナにおいて挙行されました。

大西修学院長からは、「卒業は一つの到達点であると同時に、次の新たな出発点でもある。これから皆さんが歩む道では、必ず道連れと共に歩んでほしい。そして多くの人々に喜ばれる生き方、新しい変化を喜んで受け入れる生き方をしていって欲しい」とお祝いの言葉が述べられました。

これからの人生も山あり谷ありだと思います。七転び八起きの精神で失敗を恐れず、前に進んで歩いていただきたいと思います。1407名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

●入学式●

2015年4月2日(木) 大阪北支部 西村 浩一

4月2日(木)午前9時よりチャペルで新入生歓迎記念礼拝、10時より総合体育館で入学式が、満開の桜の中執り行われました。前田徹生学長は式辞で、「本学の伝統である『自由の風土』が『優れた脳』を育て、『体験』し『経験』を重ねることで自分が生きることの意味を教えてくれる。まず、自分の足で一步踏み出してください」と述べられました。大西修学院長より祝詞をいただき、卒業生のバグパイプ演奏もあり、新入生にとって新たな第一歩になったと思います。式後、学部別の各会場にて保護者を対象に教育後援会と同窓会の挨拶、及び学部長より学部学科のお話がありました。



2014年12月20日(土)

Volunteer Activity

第5回 ボランティア活動等発表会

奈良・三重支部 柏原 和子

桃山学院大学チャペルにて発表会が開催されました。活動に参加した学生達はプロジェクターで写真等を使いビジュアルにまとめ、課題への達成感があふれた発表でした。

①子ども未来支援サークル みらくるみん

児童養護施設の高校生が大学生との触れ合いを通して社会生活スキルを磨くことをテーマに活動。震災被災地(宮城県気仙沼市の離島である大島)で地元の子ども達も交え、ゆず畑の草刈り等のワークキャンプを実施。施設の高校生が将来につながる体験をすることができた。また発表した学生自身も、目標に向けて行動する組織(仲間)作り等で主体性が生まれ、貴重な体験になった。

②森づくりボランティア

横尾川ダム計画予定地を舞台に「笑働の森づくり」をテーマとし、他大学との連携で「森林資源を生かす」「森の魅力を伝える」活動を実施。杉の弁当箱作り、カホン(ペルー発祥の打楽器)作りや、「横尾っ子まつり」で地域間交流目的のイベントサポートも実施。

③内モンゴル緑化ボランティア体験セミナー

特定非営利活動法人、緑化ネットワークの指導のもと、中国内モンゴル自治区にて砂漠化したエリアの緑化活動を2006年よりスタート。「元の生態系に戻す」「黄砂の食い止め」「現地住人に刺激」等を目的とし、今年は11名の学生が参加。累計177名となり、緑化活動面積も8haにまで拡大。

④国際ワークキャンプ(インドネシア)

プリンビンサリ村にある児童養護施設では、施設横に流れる川の護岸工事ワークを実施。また、日本食パーティー等で施設の子ども達や現地の村の方々と交流。その他、現地の小中高等学校で日本語授業や日本文化を伝える活動も行った。インドネシア文化・風習が体感できたと同時に海外から見た日本の素晴らしさに改めて気付いた。

学生達の発表を聞いて、自分達でタスクを設定し一つずつこなす達成感と、チームワーク&コミュニケーションの重要性を感じ、社会へ出る前の得がたい経験になったと思います。



コラム

「心機一転」

奈良・三重支部
森本 美貴

4月からあっという間に1年が経とうとしています。去年は、親子共々新しいことばかりでした。近くの高校に通っていたので、片道2時間の通学は息子にはきつかったと思います。私も息子が大学へ行ってしまうと用事もないので、息子に触発されて自分も変わらなきゃ!と、4月から就職活

動に頑張りました。が、なかなかみつからず、やっと11月から仕事を始めることができました。私は職場では一番年下ですから、販売、在庫管理など何でもしなくてはならず大変で、体調を壊さないようボチボチしています。息子は公務員のための講座を取得し、就職に向けて頑張っております。

2014年度 全国支部長会議

九州支部支部長 古城 光昭

「教育・就職サポート講演会」報告



中央・古城支部長

本会議にて、昨年度、支部行事として実施した「教育・就職サポート講演会」の報告をさせていただきました。「親として子どものために何ができるか?」、「九州支部として、保護者・学生・大学に対し具体的に何ができるか?」、この素朴な考えが開催の基本姿勢です。

九州は距離的時間的に、本学の行事やイベントに参加しにくい面があります。この点を踏まえ、テーマを「親として出来る遠距離からの子供へのサポート」といたしました。

第一部は「学生及び大学の近況」と題しキャリアセンター職員 永嶺敦史氏、「日本の教育改革と桃山学院大学の取り組み」と題し副学長 今本秀和先生より講演をいただき、第二部では「親として出来る遠距離からの子供へのサポート」と題して、福岡教育大学の宮田正和先生に講演をいただきました。第三部は講師の方々を囲み質疑応答の時間としました。

桃山学院大学は、大学教育に対してとても熱意ある取り組みを行っており、日々躍進している好印象を受けた第一部でした。ここでは紙面の関係で第二部の講演について紹介いたします。医学博士でもある宮田先生は、現在福岡教育大学で、講義と健康科学センターを通して、沢山の学生達との時間の共有があります。講演内容を次に抜粋します。

◆携帯電話・ネット利用に関する調査

○国立大学生320名にアンケート

(2大学 男子130名・女子190名)

- 携帯利用ベスト3
 - 1 メール 2 インターネット 3 通話
- twitterとfacebookの両方で60%近く、LINEは90%が利用
- 一日のネット時間 → 1時間以上60%(3時間以上11.1%) 時間が長過ぎると思う80.8%
- ネットによる睡眠時間の減少 → 時々ある37.1%

◆ゆとり世代

- ゆとり教育「個性の伸長」
 - 大人から叱られることに慣れていない
- 主張や認められ願望は強いが打たれ弱い
 - テーマを与えられると強いが言われないとできない

◆青年期の課題としての大学受験

自分はどのような人間か、何に向いているか、受験時に

自己の将来像をイメージし進路を模索することが必要
○自分は何のために大学へ行くのか目的が大切
自己の適性を考えず偏差値や親や先生の勧めで決める
→ 不本意入学 → 講義が面白くなく大学へ通学する意味が分からない → (仮面浪人 留年)

◆ストレスへの対処法

- ストレスを完全に無くすことは困難 いかにも「悪いストレスを良いストレスに変えていくか」が重要
- ストレスに負けないために受容能力、情緒的支援網、生きがいが大切

◆鬱、鬱(うつ)

○症状

精神症状(抑うつ、不安、自責感)と身体症状(早朝覚醒、食欲減退、自律神経失調症様症状)

○家族の病気への理解と対応

うつ病という病気であり治療により完全に回復する性質のものである 休息と服薬が基本 叱咤激励して心理的負担を強めず、患者の悩みに対し受容的に接する 重大な決定(退学、退職)はしない 自殺企図に注意

◆メンタルヘルス問題と障害

○適応するとは?

五月病…新環境へのつまずきと以前の環境との別れから来る悲哀体験を否定せずに、学生自身が素直に受け止めることが重要 不適応を許容する支援も必要

◆大学生を取り巻く状況

就職浪人、フリーター、引きこもりの増加 ヴァーチャル世界への逃避は精神的不健康を来す

◆学生の自殺と死因順位(15~24歳)

- 1位 不慮の事故(うち77%交通事故)
- 2位 自殺 → 大学における自殺予防対策は重要

○自殺したいと打ち明けられたら

価値観を押しつけず悩みを理解しようとする態度が必要
時間をかけて訴えに傾聴し専門家への相談を勧める

◆健康維持習慣

毎日の朝食 適正な睡眠と体重と運動 喫煙と過度の飲酒を避ける

九州出身の学生達は、大学生になるとそれまでの自宅通学が変わり一人での生活になることが多いために、親として子どもの心的変化を掴みにくくなります。その点、講演内容は参考になることが多々あり、全体を通して、「今後の子育てに力が出る」「大学を、より身近に感じる」等、ご出席の方々から沢山の感想が寄せられました。初めての九州支部主催の講演会でしたが、大学をはじめ沢山の助力があり無事に終えることができました。

最後に、開催にあたり講師の先生方やご出席の保護者の方々をはじめ関係者の皆様には、心より感謝申し上げます。講演会を通じての体験が、私達保護者が子どもの成長をサポートする際の一助になればと思います。そしてまた大学の今後益々の発展を、支部役員、一保護者として心よりお祈りします。

「ビジネスプランコンテスト」

本部 坂本 啓子

大学祭の中日、午後1時より聖トマス館001教室にて開催されました。

このコンテストは、大学のキャリア形成支援の一環として、桃山学院大学が主催、同窓会ならびに教育後援会が後援するもので、主に「ビジネスプラン作成講座」等で学んだ学生達が企業の社長や大学教員、一般の参加者を前に、自分が企画したビジネスプランを発表し、評価を受けるコンテストです。

今回は、事業計画書の一次審査を経て、1～3年生までの学生6名がコンテストに出場。10分間のプレゼンテーションの後、特別審査員から質問を受けるという形で進められました。

「漫才やコントなどの笑いを取り入れ子ども達にコミュニケーション力をつける塾を目指したい」「人口が減少している自分の故郷の島でオーダーメイドの結婚式～リゾート婚を企画し地域の活性化に繋げたい」「深刻化する高齢

化社会に向けて高齢者同士のハウスシェアを提案したい」など熱のこもったプランが次々と紹介されました。発表者のアナウンスに魅了され



たり、企画内容にうなずきながらプレゼンテーションの画面に見入ったり…と感心することしきりでした。一次審査からコンテストまでわずか2週間というハードなスケジュール。学生達の頑張りが思い浮かびました。

特別審査員からは、社会人や経営者としての立場から、鋭い視点での質問やアドバイスがなされ、「若いパワーで日本を元気にしてもらいたい。元気いっぱい頑張ってください」と励ましの言葉が贈られました。

第1位は寒川詩喜さん(国際教養学部国際教養学科2年生)による「日本の屋台を海外で! New York たい焼きプロジェクト」で、栄えある学長賞が授与されました。

クラブ活動報告 activities report

みなさんはじめまして茶道部です!

茶道部部长 法学部3年 廣澤 崇也

私達茶道部は現在、一年生と二年生あわせて部員19名で、時ににぎやかに時に気を引き締めて、毎週火曜日と木曜日に学内にある茶室にて活動しています。部員の中には茶道経験がない部員も多くおり、先輩や先生に教えていただきながら努力しています。

活動内容として火曜日は部員同士で教え合いながら、木曜日には先生にお越しいただき指導を受けます。行事としては、まず春季学内茶席を行います。夏休みには学外合宿として昨年は広島に行き、部員同士での親睦を深めました。学内合宿では、集中した練習によりさらなる上達をめざします。そして秋になると、秋季学外茶席があります。去年は大仙公園の仲庵、一昨年は大阪城西の丸庭園にある豊松庵で実施しましたが、そういった学外にある茶室を使わせていただいて茶会を行



います。また、桃山祭でも茶席を開き、来られた方々に茶室に入らせていただきます。新年には留学生振袖の会において茶を点て、みなさんに楽しんでいただいたり、留学生に点て方を体験してもらったりしました。こうしたさまざまなイベントや行事を通して得られた貴重な経験、日々の練習を積み重ねながら、頑張ってお茶を点てています。

茶道部では、茶席の練習をして礼儀作法を学ぶというのはもちろんですが、練習をしていく中で先生に和菓子や茶道の道具、日本の伝統、日常的な礼儀作法など大変有意義なことを教えていただくこともでき、いつも興味深く学んでいます。またイベントに参加し茶席を催すことにより、自分達で企画し実現させることの大変さや、その上で達成感を感じることがとても素晴らしいものであるということを実感できています。また、来ていただいた方をもてなす心持ちなども、学ばせていただいています。部活をしていると免状をもらうこともでき、積み重ねてきたものの一つの証として、とてもうれしいものです。

これからも努力していきますので応援してくださいとうれしいです!

卒業記念募金

教育後援会では、卒業生の保護者の皆様を対象に、ご子女の卒業を記念して、「卒業記念募金」を依頼し、学生の学習や課外活動の環境整備に援助しています。

今年度は、大学附属図書館にブックハング、LRディスプレイウォール等の図書展示用備品を寄贈しました。

ご寄附いただきました保護者の皆様方、ありがとうございました。



図書館の企画展示では、資料が見やすくなりました

大阪南支部

支部長 北野 隆



経営学部長 牧野丹奈子先生と学生による就職講演会

2014年12月6日(土) 北野 隆

桃山学院大学において開催しました。一部では“社会人として必要な力”と題し牧野丹奈子先生に講演していただき、二部では“就活における親のサポート”と題しアンケートをもとに学生達の生の声を聞かせていただきました。ご参加、ご協力いただきました皆様にお礼を申し上げます。



社会人として必要な力

山本 節子

日頃から実践教育に尽力されている牧野先生ならではの、現場へ直結する人材育成のお話をお伺いすることができました。社会人に必要な力とはどのような力なのか？という議題に対して、それは、基礎学力や専門知識だけでなく、①前に踏み出す力 ②考えぬく力 ③チームで働く力 という“社会人基礎力”であるということ、そして、2014年に実施された経団連新卒採用アンケート調査結果を例に、企業が選考時に特に重要視する点として①コミュニケーション能力 ②主体性 ③チャレンジ精神 ④協調性 といった力が挙げられていることなどを論理的に、一つ一つ丁寧に、そしてわかりや

すくお話していただきました。私達保護者にとっても、自分の子どもは何が得意でどう関わっていけばよいかを考える、いい機会を与えていただいたと思いました。

就活における親のサポート～牧野ゼミ生三人の話を聞いて～

廣口 由夏

学生達の生の声、本音にふれるいい機会になりました。自分の子どもに対してどんなサポートをすれば良いのか、深く考えていなかったのですが、話を聞いたことで、子ども達は親が思っているよりも大人で、大人になろうとしているので、いかに邪魔せずに負担を減らしてあげられるか、つかず離れずで、必要な時に手助けすることが大切と知りました。つい口出ししてしまいそうですが、親も子離れの準備をする…という意味でも頑張ってみようと思いました。この企画のためにアンケートを実施し沢山の時間を割ってくくださった先生、学生のみなさんに感謝いたします。



前列左 牧野先生
前列右 北野支部長

白浜セミナーハウス閉所

学生達の課外活動の場として長い間親しまれてきた桃山学院大学白浜セミナーハウスが、建物や設備等の老朽化、課外活動の多様化による利用者数減少等の事情により、2015年3月末をもって閉所されました。3月28日(土)には、セミナーハウスにおいて水谷和夫理事長をはじめ大西修学院長、前田徹生学長、白浜町役場御代表様ご臨席のもと、大学、同窓会、教育後援会等関係者が一堂に会して、閉所感謝礼拝が挙行されました。

16年間で延べ24,887名の方々にご利用いただきました。

閉所にあたり、今までご支援を賜りました保護者の皆様方、セミナーハウス設立にご尽力いただきました教育後援会の諸先輩方、また、いつも学生達を温かく迎えお世話をしてくださいました管理人の皆様、心より御礼を申し上げます。



特別寄稿 白浜セミナーハウス

桃山学院大学教育後援会顧問 岡松 誠一

南紀白浜三段壁に、ひと際目立つセミナーハウス。大自然の荒々しい景観と千古の神秘を目前に、大勢の学生諸君が活用し、素晴らしい思い出を残したセミナーハウスは、その使命を完了いたしました。時の流れに沿って、新しい挑戦をすることになりました。1999年3月にオープンし16年が経過致しました。当時本部役員として、オープン式典に参加し、その後、教育後援会の会長の職に就きましたが、1978年以来20年間、毎年卒業生の保護者の方々から、「のちに続く在学生達が豊かな学生生活を送ることができるように」との思いを込めた心暖まる寄付をいただいて実現したセミナーハウスを、今日までその意思を継続してまいりました。教育後援会、同窓会より補助を実施し少しでも多くの学生に利用できるように致しました。多くの留学生にも利用され、素晴らしい思い出を持ち帰ったものと思います。

白浜セミナーハウスは閉所されましたが、桃山学院大学が新しいビジョンのもと、グローバル型の大学として世界の市民を探求し、現役学生、同窓生、保護者の方々にとって世界市民の仲間として、今後とも、大きく成長し飛翔できることを心より祈念しております。

大阪北支部

支部長 石津 裕子



前田徹生長講演会

2015年2月14日(土) 泥谷 加代子

はじめに、現在学生数が約7000名で海外との交流が多く、学生の顔を見据えた学生主体の教育へと改革を進めていることなどお話がありました。キャリアセンターともタイアップ。体験教育、実践教育を中心とした取り組みの成果として、経営学部の実就職率が昨年度大阪の私立大学(商・経営学系)で1位になった例も報告されました。

後半では、大学教育の現状と課題として「今大学で何が起きているか?」の話の中で、教育は選別化と偏差値コンプレックスを引き起こしていると言えるのではないかと、受験はテクニックと共存していて、ランキングが下位の大学に入った者が必ずしも能力や学力が低いとは言えない、さらに経団連アンケート調査をもとに「企業社会が求める能力」として第1位コミュニケーション能力、第2位主体性、第3位チャレンジ精神が問われている時代である等お話いただきました。

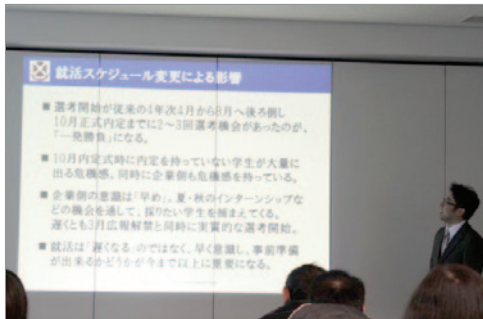
最後に、脳は、誰でもいくつになっても鍛えれば成長するもので、社会人に求められているものは、コミュニケーション能力であり部分脳ではなく全体脳であると締めくくられて講演会は終了しました。

桃山学院大学がどのような教育を目指しているのか、大学の素晴らしさを知るとても貴重な機会でした。

キャリアセンター説明会

2015年2月14日(土) 後藤 利一

キャリアセンター課長補佐 山口洋司氏から就職支援の取り組みについて、説明をしていただきました。



まず、現4年生で就職先が決まっていない学生に対して、就職戦線は終盤に差し掛かっているが、求人をしていない会社はまだたくさんあり、キャリアセンターやハローワークを活用してあきらめなければ、必ず就職先が決まるとのお話がありました。

3年生に対しては、今年から後ろ倒しにルールが変わっており3月からエントリー受付、8月から採用面接となったが、実質的には就職戦線は動き出しており、早目早目に就職活動をされるようにとのアドバイスがありました。最後に梅田に開設したサテライトオフィスについて、職員が常駐しているので活用してくださいとの説明がなされました。

説明会后、保護者からの質問に対しても丁寧なアドバイスをいただき、有意義な時間を過ごすことができました。

京都・滋賀支部

支部長代理 羽山 春美



第3回 就職支援講演会

2015年2月21日(土) 羽山 春美

Y I C 京都にて開催しました。

第1部は、最初に桃山学院大学前田徹生長より「大学の現状や方針について」講演いただきました。学生の能力を高める実践教育や深い学びにつながる体験型のアクティブラーニングを採り入れ学生を鍛えているお話や、脳についてのお話などをお聴きしました。脳は誰でもいくつになっても鍛えれば成長する、褒められるとよく育つ、脳健康を維持するには運動が大切とお話は、私達保護者にとっても興味深いものでした。次にキャリアセンター事務課課長 前澤暁様には「最近の進路状況と就職活動について」講演いただきました。企業が求める主体性・チャレンジ精神・コミュニケーション能力などを培うゼミやインターンシップに参加する重要性、学生自筆の就活メモ、就活合宿などについてお話いただきました。

第2部、桃山学院大学OBで株式会社ニトリ勤務の西村公男様による講演では、ご自身の就職活動や転職の際の体験について、ユーモアを交えて話してくださいました。

- 行きたい会社が決まれば、情報を得るだけでなく、会社へ出向き出入りする人を建物の外から見るようにした。OB、OG訪問をした。
- 社長が出している本を読みモットーやコメントを知る。それを面接に活かすようにした。
- 面接試験対策として本を買い質問内容を30ほど書き出す。

模範解答を調べて自分のことばで書き直し暗記をした。

- 面接で「何か質問ありますか」と聞かれ「ありません」はダメ。最低3つ、質問を用意した。
- 就職情報誌『就職四季報』を購入し活用した。

講演後、質疑応答の際には、会場の皆様から積極的に質問をいただきました。卒業生についても、キャリアセンターで相談に乗っていただいていると知り、本学が素晴らしい大学であると再認識させられました。京都滋賀の保護者の方々にもっと積極的にご参加いただき、これからも支部活動を通じ、情報発信していきたいと思っております。

今後とも宜しくお願いいたします。



参加者全員集合

支部だより

奈良・三重支部

支部長 山崎 周子



就職支援講演会

2014年10月26日(日) 福西 享子

奈良・三重支部の特別行事として、開催しました。桃山学院大学 井田憲計准教授、キャリアセンター職員 星川大祐様をお招きし学生生活の様子、内定をいち早く取る学生の就職活動に向けて取り組み等、聞かせていただきとても参考になりました。内定取得の学生市田絵美加様の就活体験談では、思うように進まず辛かった、大変だったが、そんな中でも一貫して、健康的な印象を与える面接、余裕を持って臨む面接、面接機会をいただいた会社への感謝を忘れない等、自分の置かれた現状を受け止め乗り切って来られた様子が印象に残りました。親としての関わりの大切さを改



めて実感しました。とはいうものの就職活動は学生自身が行うことで、親としては関わり過ぎず、適度な距離を保ちながら応援し相談された時にアドバイスできるよう、大学や後援会等主催の就職支援講演会に参加し、現状を把握しておくことは大切だと思いました。

社会に飛びたちはじめた我が娘へ

市田 美保子

桃山学院大学に入学してから早四年の月日が流れ卒業が目前となりました。この間、学業は勿論、友人や先生との出会い、それ以前とは違う環境の中、充実した時間を過ごしていました。親である私自身は教育後援会活動を通じ、これまでとは違った環境の中で多くの方々と出会うことができ、実りある生活ができたことに感謝したいと思います。

大学生活での我が子は片道二時間に及ぶ通学、単位や資格取得のため忙しい日々でした。親としてできる限りサポートしてきましたが本人の努力なしではやり遂げられなかったと思います。これから社会人として歩き始めた時、様々な困難にぶつかるでしょう。その時自分にしかわかり得ない苦労や努力の経験を思い出し、色々な障害を乗り越えてほしいと思います。自分の長所はより伸ばし、短所は直す努力をおしまず前へ進んでください。良き環境の中で過ごせたことを忘れず、自分を信じ一歩一歩確実に歩んで行くことを願っています。

兵庫支部

支部長 塚本 玲子



梅田サテライト取材

2015年2月16日(月) 塚本 玲子

兵庫支部役員3名で、桃山学院大学梅田サテライトの見学、取材に行って参りました。まず、立地が素晴らしく便利！でした。大阪梅田のスクエアビルに位置し、JR、各地下鉄、阪急、阪神から、地下道直結なので、雨天でもスーツが濡れずに行けます。そして、化粧室(トイレ)がきれい！梅田に拠点を置かれた目的のひとつに、アクセスが良いので企業説明会のための、優良企業をお誘いしやすいということがあったのですが、3月から、びっしり、説明会でスケジュールが埋まっています。中は静かで、こじんまり、アットホームな雰囲気。飲食も可能なので、弁当等を持参すれば、外食代の節約にもなり学生達が気軽に利用できそうでした。

グループディスカッション対策講座

2015年2月17日(火) 塚本 玲子

サテライト取材2回目は、外部講師を招いての講座を見学させていただきました。マナーを知らない子どものような態度でグループディスカッションに臨むのは厳禁です。「そういえば、ソックスが嫌いで、すぐ裸足になる子だったな」と思い浮かべた保護者様、「まさか、人前で靴下は脱がないでしょう」とお考えになりましたね。脱ぐ可能性はあります。同じ年齢の学生同士話し合うので、夢中になると面接官の姿が視界から消え去り、「あんなあ〜、僕なあ〜」と関西弁に

なる。ほおづえをつく、肘をつく、足を組む、靴を脱ぐ等、全てアウト！です(結構、散見しました)。グループディスカッションは、早い段階で行われることが多いので「みんな合格して、次の段階に行きましょうね」という発想が大切です。テーマに対する正解を問われているのではないので、設定時間を余らせて討論を終了させてはならず、かといって、時間は採用担当者の時計が全て！という、大人の社会も垣間見られます。知っているのと知らないのとでは雲泥の差、のテクニックも教示されていました。後々練習もできるので、対策講座はぜひ参加がお勧めです。面接官は必ず年上です。何をやっても可愛い我が子ではありますが、大人の目線で、一度見てあげてください。

キャリアセンターでは他にも就職活動合宿等、いい企画を用意してくださっているので、思いっきり活用してください。



和歌山支部

支部長 高田 忠彦



第5回就職支援講演会

2015年2月15日(日) 高田 忠彦

和歌山支部活動の一環で保護者と学生を対象にJR和歌山駅前J Aビルで開催しました。当日は、北風が冷たい中、県内各地から保護者や学生が36名参加くださいました。

就職支援講演会は、4名の講師をお招きして行いました。まず、支部長の開会挨拶に続き、ジョブカフェ和歌山で統括コーディネーターを担当されている高幣武嗣氏から和歌山での就職についてお話いただきました。次に信用金庫に就職されてご活躍の清水加奈さんから就職してからの助言をいただきました。続いて住宅メーカーに内定された4年生松原丈君の就活体験をお話いただきました。最後にキャリアセンターの前澤暁課長から大学の就職状況についてお話いただきました。

このあと、休憩をはさんでグループディスカッションを行



いました。参加された保護者や学生を3グループに分けて、4名の講師が持ち回り、15分で交代して各グループを回っていただきました。グループ内では、活発に質疑応答され、普段聞けないような質問でも講師様には一つ一つ丁寧に答えていただきました。こうして約2時間の講演会があつという間に終了しました。グループディスカッションは、初の試みだったので心配していましたが、帰り際、参加した保護者の方から「よかったよ」という声をかけていただき安心しました。

今回、学生と保護者のペアで参加された方が多数おられました。働くこと、そのために就職活動する過程で色々困難なことがあります。親は、自分の子どもが一番かわいいし、何か手伝ってあげたい、役に立ちたいといつも思っています。子どもは、心配して見守ってくれている親に感謝しています。今回の講演会の講師のご講話やグループディスカッションの内容を、ご家庭でお話いただくことで親と子の絆も深まります。就職活動や仕事でしんどいことがあっても、「明日もがんばろう」という気持ちになっていただければ幸いです。



岡山支部

支部長 山本 光志



佐山社長講演会を開催しました

2014年9月14日(日) 山本 光志

「湯原から世界の社長へ」起業家佐山社長と語ろう！と題して、岡山シティーホテル厚生町にて、桃山学院大学を卒業された佐山修氏による講演会を開催しました。

佐山氏は岡山県真庭市出身で、地元に戻り起業されて成功された方です。現在は、オーティス(株)で代表取締役社



佐山修一氏

長をされています。

その佐山社長をお迎えして、学生及びご家族を前に和やかな雰囲気の中、お話をさせていただきました。佐山社長が起業されるまでの経緯や仕事に対する考え方などは、これから就職される学生にとってはとても参考になったのではないかと思います。また、講演後の質疑応答の時間では、参加者の方からの質問にも丁寧に答えていただきました。

お忙しい中、快く依頼を引き受けてご講演いただき、ありがとうございました。



大学祭見学に行ってきました!

2014年11月15日(土)



左端：山本支部長

支部だより

広島支部

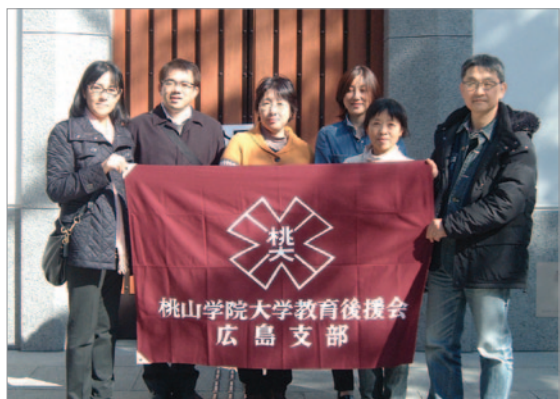
支部長 原田 有二



大学祭キャンパス見学

2014年11月15日(土) 原田 有二

広島支部7名で大学祭に参加してきました。キャンパス内では各クラブや同好会が趣向を凝らした模擬店やイベントを繰り広げており、時間がたつのを忘れるくらい満喫いたしました。また、午後からは大学内の施設見学に参加し、図書館、体育館、自習室、模擬裁判所等、初めて目の当たりにしましたが想像以上の規模や充実ぶりに驚きを隠せませんでした。特に図書館や自習室については、同じ学費を払っているのならとことん利用してほしいと親として素直に感じました。



右端：原田支部長

広島支部教育講演会

2014年12月6日(土) 原田 有二

チサンホテル広島にて開催いたしました。

講師として、本学卒業生で株式会社アドクリエイト代表取締役 河野孝文氏をお招きしました。“夢を叶えられる子供の子育てとは!?”をテーマに幼少期から社会人までをありのままで紹介され、「母親の教育」「人生のターニングポイント」「今後の就職環境」とテーマごとに具体的にわかりやすく講演されました。何をやるにも目的意識を持つという考え方に、深く共感いたしました。



木下栄二副学長より、「大学の支援体制」についての講演があり、プロジェクターを利用してウイットのきいた会話で、すばらしい環境、充実した施設について説明がありました。

キャリアセンター職員の堀井由貴恵氏より、「最近の就職状況」についての講演があり、自身の体験を踏まえて就職率好転の数字の裏にあるマジック(求人予定数は増加だが、実際の採用は、いい人材がいなければ予定数に達しなくても打ち切られる)に騙されないこと等、就職活動まっただ中の保護者としては、大変有意義な時間を持つことができました。

四国支部

支部長 岡崎 義弘



四国支部主催「キャリア支援講座」に参加して

2015年2月8日(土) 石田 洋子

「サンメッセ香川」におきまして、開催されました。

大学統括部長 中辻勉様から、大学の就職の現状、また香川県商工労働部から井上秀基様にお越しいただき、Uターン就職の状況について、お話を伺いました。

大学で培われるべき底力のある人間力、社会人力をつけることの大切さ、桃山リベラリズムの伝統を生かして世界に通用する人材の追及、大学教育の深い意味を教えてくださいました。また、「かがわ企業ガイド」という冊子を配布いただき、企業の紹介や面接会&企業説明会、就職サポートセンターの存在を知ることができました。改めて、人脈の大切さ、OB・OG訪問が成功のヒケツ、事前準備の大切さを知りました。

キャリアセンター事務課課長の前澤暁様からは、基礎演習やゼミに積極的に参加することの重要性、インターンシップに参加することなど、たくさんの情報を教えてくださいました。

法学部4年生の山口芳朗君からは、就職活動の体験談を話していただきました。公務員を希望し専門学校で公務員講座を受講したが、結局一般企業から内定をいただいたとのことでした。

就職活動は、聞けば聞くほど長いトンネルの中をくぐり抜けるようなもの。自分の知識やコミュ

ニケーション能力、資格を駆使し内定という切符を手にする為に、ひたすら努力し続けることだと思います。努力は決してウソをつかず、成功へと導く突破力になってくれます。それは、私達親世代が学生だった頃も今も、変わっていないと思います。

大学生活で多くの友人を作り、実践の授業で社会生活に直接つながっていけることが、質の高い学生を育てると思われれます。

桃山で良かった!!

教育の質を考える、貴重な時間を過ごすことができました。春休みに帰省する息子と、今回この講座で学んだことを会話の糸口とし、少しでも親としてのアドバイスができるよう頑張りたいと思います。



山口支部

支部長 廣實 みち代



支部長挨拶

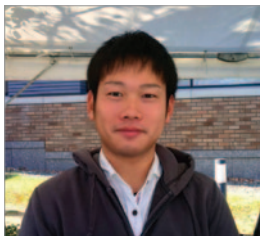
廣實 みち代

今年も美しい紅葉の彩の中、大学祭へ参加させていただきました。2回目ということもあり、心持ち余裕の有る探索でした。

キャンパス見学の事前申し込みはしていませんでしたが、もう一度、設備の整った体育館、図書館を拝見したく、見学に参加させていただきました。今回は日帰りでの大学祭でしたが、楽しく有意義な時間を過ごせて、山口県出身の学生の写真も役員の方に撮っていただきました。校友室の皆様方には、大変お世話になり感謝しています。

振り返るとわが子が入学して、早2年の月日が経ちました。慣れとは不思議なもので入学当初は、日々心配の種も尽きませんでしたが、今では、その心配も何処吹く風。メールや電話の回数も日を追うごとに減っています。思うことは、「単位取って、4年卒業」ですね。

私事ですが、2年間支部長を務め、校友室や他の支部の皆様方と交流が持て、楽しく活動しております。また、昨年からは、ご縁があり、広島支部や九州支部の同窓会の集いにも参加させていただき、交友の幅が広がりました。多彩な方々と、知り合え懇談していくうちに、行動範囲も広くなり、自分磨きにもなっているように自負しています。



村田将史くん



南野裕紀くん

今、素晴らしい先輩方に生まれ有意義な学生生活を送る我が子の為にも、是非、山口支部にも同窓会ができることを願っています。まずは、地方の絆を持つことから、在学生内での「県人会」発足を強く希望しています。

生涯の内の貴重な4年間で、子ども達にとって、輝くような思い出に残る学生生活となるよう、これからも微力ながら最善の力を尽くしたいと願っています。

大学祭に参加して

辻野 光江

大学祭の見学ツアーも2度目でしたが、日本拳法の気合の入った練習を見学する機会に生まれ、そこで元気な息子の姿を見ることができ充実した時間を過ごすことができました。これから沢山の試練が息子を大きく成長させてくれると信じ応援していきたいと思います。突然の訪問を快く受け入れてくださったコーチに感謝いたします。頑張れ日本拳法部！



辻野さん親子 (辻野大地くん)

藤山 優子

息子の所属する「双葉会」では、タコ焼きを出店していました。統一のトレーナーが印象的で、準備から販売まで皆、楽しそうでした。売上は、桃山祭で一番だったと後で報告がありました。



藤山達彦くん

北陸支部

支部長 宮島 清和



大学祭見学

2014年11月15日(土) 宮島 清和

秋晴れに恵まれたこの日、北陸支部会員5名が「桃山祭」見学ツアーに参加。昨年に引き続き実施された広島支部と合同による大学との懇談会では、木下栄二副学長をはじめ、中辻勉大学統括部長、竹井源五教育後援会副会長にもご参加をいただきました。大学からは大学の現状や就職活動を中

心にお話がありました。質疑・応答の時間では日頃保護者が抱える子息の生活や学業に対する疑問・不安等について、それらを払拭するような回答や助言をいただき、非常に有意義な懇談の時間を過ごさせていただきました。



左端：宮島支部長

北陸支部通信の発行

昨年度から、支部活動の状況を会員の皆様方にお伝えしご理解いただけるよう、「顔(実態)の見える北陸支部活動」を目指して年2回発行しています。今年度は10月に「北陸支部通信第3号」を支部全会員に発行いたしました。本部・北陸支部の9月末までの活動状況と桃山学院大学開学55周年記念イベント「学長前田徹生が行くGo! Go!キャラバン!! in 金沢」のお知らせを掲載いたしました。

支部だより

山陰支部

支部長 高木 肇

支部長挨拶

高木 肇

支部長となり、2年目となりました。

私は、桃山の社会学部を30年前に卒業しました。同窓会鳥取支部や桃山祭・ホームカミングデイなどにも楽しく参加させていただいております。支部長をお受けした時は不安もありましたが、保護者、OBの立場で貢献しようと、変に肩に力が入ったものでした。

さて、支部では例年、講演会及び交流会、桃山祭キャンパス見学など行事を計画し、会員の皆様にご案内していますが、参加は役員が中心という状況です。また、こうした中で、役員のなり手がなく今後の支部活動が懸念されています。まずは、総会に出席していただき、大学や教育後援会を知っていただくことが大切であると考えています。縁を大切に、支部活動を充実したものにしていきたいと思っております。

皆様のご理解、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

講演会

2014年10月26日(日) 高木 肇
標題の会には保護者8名を含む11名の参加がありました。

「2030年の日本、山陰はどうか？」



と題し、社会学部の村上あかね准教授にご講演をいただきました。山陰両県の人口減少率を根拠に、少子高齢化の現状分析や将来予測など興味深い身近な問題を丁寧に解説していただきました。消費動向、労働者不足、2025年問題など、近い将来に思いを馳せながら参加者からの質問も多くありました。時季的に学会などご多忙な中、講師の先生を調整していただき、大学関係のご尽力で開催することができましたこと、感謝申し上げます。

午前中の時間を利用して有志での交流会を実施。山陰海岸ジオパークの浦富海岸周辺を選定し、親睦を深めました。「島めぐり遊覧船」に乗り込み、好天にも恵まれ、目を眩るばかりの豪快な景観や、変化に富んだ美しい景色を眺望し、堪能することができました。

九州支部

支部長 古城 光昭



第2回「教育・就職サポート講演会」 有り難うございました!

2015年1月24日(土) 古城 光昭

◇「桃山学院大学が目指す教育活動」

副学長 木下 栄二 教授

◇「進路状況と2015年度就職活動について」

キャリアセンター 永嶺 敦史 氏

◇「昨今の大学生を取り巻く消費者問題を考える」

(公社) 全国消費生活相談員協会 九州支部支部長
井出 龍子 氏

今年度は山口支部のご協力を得て山口・九州を対象に開催しました。会場先の福岡県をはじめ、遠くは鹿児島・沖縄からのご出席もあり、その数は昨年度を上回るものでした。ここにご出席の皆様からいただいた声を一部紹介します。



保護者の方々からの声

- 学習意欲の向上を目指す大学の姿勢を感じ、桃山学院大学を親として誇りに思う。
- 学部を越えてもっと友達をつくりたいので、九州出身の会などを開いていただけたらと思う(学生)。
- 就活におけるトラブル事例を含めもっと聴きたい。今後の就活に不安を抱く保護者にとってキャリアセンターからの話は心強く感じられ、就活の進め方が良く分かった。
- 質疑応答では、沢山の質問や意見が聴けて、共通の悩みや心配事があるのだと思った。子どもが無事に就職・卒業できるようにサポートしていきたい。
- 消費者問題は知らないことも多くもっと聴きたい。身近な話題を交えて理解しやすかった。悪質商法の対処法も参考になり、早速子どもとのコミュニケーションにも活かそうと思う。
- 犯罪に巻き込まれる危険性を取り払うには、家族が離れていても、いつも繋がっていることが大切かと改めて思った。
- 桃学は学生達を大変大切に考えている。職員と学生との距離が近くて良いと思う。
- 内容が詳細で大変勉強になり学生達にも聴かせたい。次回が楽しみです。 等々

ご出席の保護者の方々と講師の方々より今回も沢山のご協力をいただき、大変感謝致しております。今回の講演会が何らかの形で、「子どもへのサポートを考える」一助に繋がればと、切に願っております。

キャリアセンター訪問

2015年2月10日(火)、キャリアセンターを訪問。大学の就職活動に対する取り組み、就活へのアドバイス等について、お話を伺いました。主な内容について紹介させていただきます。

◆2015年度の状況、計画等について

①大学キャリア関連行事・活動計画

3年生にはできるだけ早めの就活への意識醸成およびインターンシップ参加者数の増加を図る為、第1回進路ガイダンスの実施後インターンシップ準備講座など実施していく予定です。4年生にはできるだけ多くの企業との接点を作りたいと考え学内企業説明会を4月以降随時開催していく予定です。

②就活解禁後ろ倒しの影響について

2015年度より3月広報解禁・8月選考スタートとなりますが、2014年度と同様に4月に選考開始される企業が多いように感じます。4、5月予定の本学の合同企業説明会も4月中旬の申し込みが一番多く、また企業の採用担当者からの声を聞いていても8月選考スタートの企業は、大企業の一部と感じています。

結果として就活を長く続けなければならない学生が増え、内定を多く取る学生と取れない学生の二極化が進むと予想されます。

そのため4月以降毎月、学内にて企業説明会を開催、10月以降にも学内企業説明・選考会を実施するなど企業と学生との出会いの場をできるだけ多く作って参ります。

◆大学の就活に対する制度や取り組み

- キャリア教育科目が多数開講されます。様々な社会で活躍されている卒業生の話が聞ける授業もあれば、30人

1クラスで様々なプレゼンをしたり夏休みに企業人に仕事の話聞きに行く授業もあり多種多様な内容になっています。シラバスを参考に気になった授業があればぜひ受講をお勧めします。例をあげますと、「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」「キャリアを考える」「業界・職種研究」「働く事と法知識」「企業人に学ぶ」「インターンシップ」「起業家育成入門」「キャリア形成のための基礎数学」等。

- 就活中の学生には筆記試験、エントリーシート・履歴書の書き方、グループディスカッション、面接、マナーなど様々な講座を随時開催していますが、本学の一番の特徴は個別担当制。何か就活で悩むことがあればキャリアセンターに相談に来てください。

◆保護者は何をしたらよいのか？

大学は、就職の機会提供はできますが、準備をして行動する自立性・自発性は就活が始まってから身に着けることは困難です。特に学生自身の働くことへのモチベーションや職業観も大切ですが、その為には家庭の力も必要です。

「親はどんな仕事をしているか?」「周りの人がどんな仕事をしているか?」「自分はどんな仕事をしたいのか?」など日々の生活の中で話されていると学生は自然と動き出していくものです。ぜひ日々のコミュニケーションを大切にしながら見守っていただければと思います。また就活のための交通費など金銭的なサポートもぜひお願いいたします。

2015年度 学年暦 Seasons Scheduler

春 学 期

4月 2日(木)	入学式
4月 3日(金)	新入生オリエンテーション
4月 6日(月)	春学期授業開始
4月 6日(月)~10日(金)	春学期履修登録
4月15日(水)	創立記念日(平常授業)
7月25日(土)	春学期授業終了
7月27日(月)~8月1日(土)	春学期末試験(予定)
8月 3日(月)	夏期休暇開始
8月 3日(月)~21日(金)	集中講義期間(学院一斉休暇期間を除く)
8月 7日(金)& 8日(土)	春学期末追試験(予定)
9月18日(金)	夏期休暇終了

*変則授業のため休日を下記のように変更します。

(創立記念日)	4月15日(水)	→	4月30日(木)
(昭和の日)	4月29日(水)	→	5月 1日(金)
(海 の 日)	7月20日(月)	→	5月 2日(土)
(敬老の日)	9月21日(月)	→	11月11日(水)
(国民の休日)	9月22日(火)	→	11月12日(木)
(秋 分 の 日)	9月23日(水)	→	11月16日(月)
(体 育 の 日)	10月12日(月)	→	12月24日(木)
・11月21日(土)は月曜日(9回目)の授業を実施。			
(勤労感謝の日)	11月23日(月)	→	2月 3日(水)

秋 学 期

9月19日(土)	秋学期授業開始
9月21日(月)~25日(金)	秋学期履修登録
9月26日(土)	9月卒業証書・学位記授与式
11月13日(金)~15日(日)	大学祭(休講)
11月27日(金)	聖アンデレ日礼拝
11月28日(土)	学院逝去者記念礼拝
12月10日(木)	クリスマス礼拝
12月22日(火)	冬期休暇前授業終了
12月25日(金)	冬期休暇開始
1月 5日(火)	冬期休暇終了
1月 6日(水)	冬期休暇明け授業開始
1月23日(土)	秋学期授業終了
1月25日(月)~2月6日(土)	秋学期末試験 (除2/1・2)(予定)
2月13日(土)~15日(月)	秋学期末追試験(予定)
3月17日(木)	卒業証書・学位記授与式

2014年度 就職内定状況

注：大学に報告があった件数 (2015.3.31現在)

	男子	女子	合計
求 職 登 録 者 数	772名 ※724名	504名 ※492名	1,276名 ※1,216名
内 定 報 告 者 数 (大学に報告があった件数)	611名	433名	1,044名
内 定 率	79.2% ※73.8%	85.9% ※80.3%	81.8% ※76.4%
内 民間企業・福祉関係等 (公務除く)	560名	428名	988名
定 公 務 員	51名	5名	56名
う ち 福 祉 職	28名	37名	65名

(※は昨年同時期)

●編集後記●

「かけはし」第5号をお届けします。今回の春号では、基調のカラーを一新。従来の桜から、新緑のグリーンへとチェンジしましたがいかがでしたか？

今号では、定例記事の他に、白浜セミナーハウス閉所及び梅田サテライト開設を取り上げました。どちらも学生のための課外での活動スポット。期せずして閉所、開所と二つのニュースを同時に掲載することとなり、時の流れに、新旧の交代が感じられるようで、感慨深いものがありました。学生が、より豊かな大学生活を送れることを祈念しつつ…。

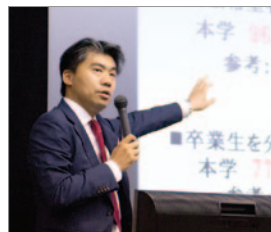
(桃山学院大学教育後援会 広報 坂本 啓子)

表紙写真：本部広報 西田秀治 表紙題字：教育後援会前副会長 佐藤静子



2015年度 教育・就職懇談会／支部総会日程

桃山学院大学教育後援会では、主要な活動の一環として桃山学院大学と共催で、毎年全国各地において「教育・就職懇談会／支部総会」を開催しています。本年度は下記のとおり行います。是非、ご参加ください。



開催日	支部（会場）	
5月31日(日)	大阪北	桃山学院大学
	岡山	アークホテル岡山
6月6日(土)	山口	山口グランドホテル
7日(日)	九州	博多都ホテル
	山陰	米子全日空ホテル
14日(日)	大阪南	桃山学院大学
20日(土)	奈良・三重	橿原観光ホテル
	京都・滋賀	ホテル京阪京都
21日(日)	北陸	ホテル金沢
	和歌山	アバローム紀の国
27日(土)	東海	キャッスルプラザ
	四国	リーガホテルゼスト高松
28日(日)	広島	ホテルJALシティ広島
	兵庫	神戸東急イン

桃山学院大学教育後援会

大阪府和泉市まなび野1番1号 TEL.0725(54)3131(代)
URL <http://www.andrew.ac.jp/koyu/kouenkai.html>